

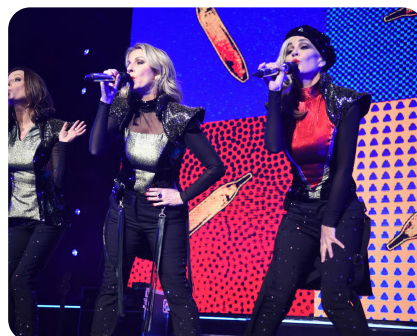
ChatGPT ▾ 無料オファー

ABBAは女性コーラスが魅力的なバンドですが、ABBA以降で女性コーラスを前面に出した著名アーティストにはどのようなものがありますか？

ABBA以降、「女性コーラス（女性ハーモニー）を前面に出したポップ／ロック／R&Bアーティスト」は多数登場しています。ここでは、ABBAの文脈（ポップ寄り・ハーモニー重視）と連続性が分かりやすい代表例を年代順に整理します。

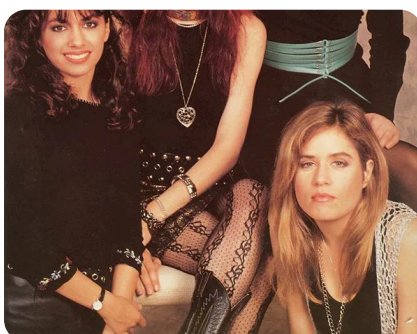
1970年代後半～1980年代

Bananarama



- 英国の女性トリオ
- ポップでシンプルなユニゾン＋ハーモニー構成
- 「Venus」などで世界的ヒット
- ABBAほど多層ではないが、女性コーラス主体ポップの流れを80年代に継承

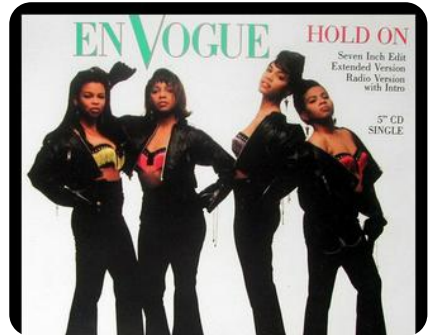
The Bangles



- 女性ロックバンド
- 全員がボーカルを担当し厚いコーラスを形成
- 「Eternal Flame」など
- ロック + 女性多声コーラスの代表格

1990年代

En Vogue



- 女性R&Bボーカルグループ
- 高度なハーモニー構築で有名
- アカペラの的コーラス技術の高さが特徴

Spice Girls



- 90年代最大級の女性グループ
- 個性重視だが、サビでは女性多人数コーラスが強く前面
- 商業的にはABBA以降最大級の女性ポップグループ

2000年代以降

Destiny's Child



- 高度なボーカルハーモニーとリズム的コーラス
- R&B系女性コーラスグループの典型
- 後の女性グループの基準を作った存在

Little Mix



- 英国の女性グループ
- 現代ポップでは最もハーモニー重視型
- ABBA系統の「コーラス主導ポップ」を現代化したスタイル

音楽史的に見る系譜

ABBAの女性コーラス系統は大きく3系統に分岐しました。

① ポップハーモニー型

ABBA → Bananarama → Spice Girls → Little Mix

② 女性ロック・ハーモニー型

ABBA → The Bangles → Haim など

③ R&Bボーカルグループ型

ABBA（ポップハーモニー影響）→ En Vogue → Destiny's Child

重要ポイント

実は音楽制作面では現在でも

- 多層女性コーラス
- ユニゾン + 3度・5度ハーモニー
- サビの女性合唱

といった手法はABBAが確立したポップ制作テンプレートの直系技術で、現代K-popでも頻繁に使われています。

もし興味があれば、

「ABBAの女性コーラス構造がなぜ現代ポップの標準になったのか（制作技術の観点）」
をかなり面白い形で解説できます。

